

大学院 2010 年度版 シラバス記入フォーム

タイトル行込み 38 行(1 列全角 38 文字、最大 1440 文字)以内。
いずれの項目も具体的に記載をお願いします。

お手数ですが、データでの送付にご協力願います。

授業科目名： アカデミックリテラシー 担当教員名： 古賀俊策・鈴木明・岡村光浩

英語表記： Academic Literacy

授業目的・方針、到達目標 (200 文字程度で) ※授業概要含む。

演習形式で研究計画書作成・論文執筆・プレゼンテーションの作法を学ぶことを通じて、研究者として求められる発信力を身につける。必要な情報を input し、正しく引証しつつその成果を output するための作法を学び、自らの研究の意義を日本語・英語で表現できるアカデミック・スキルを養いたい。

授業内容 (各回 30 文字程度で、15 回全てをご記入ください)

- 1: オリエンテーション (授業の概要・アカデミック・リテラシーとは) (古賀)
- 2: アカデミック・リテラシーと英語によるアカデミック・ライティング (岡村)
- 3: 英語を書くための語彙/英文をどう書くか (岡村)
- 4: 英語のパラグラフとエッセイの特徴/英文のジャンルとレトリック (岡村)
- 5: 英文アカデミック・ライティングのプロセス/引証の仕方 (岡村)
- 6: 英語論文の作法/Abstract の作成 (岡村)
- 7: デザイン・プレゼンテーション概念と目的…apple、RCA などの事例を用いたレクチャー (鈴木)
- 8: デザイン・プレゼンテーション概念と目的 その 2 (鈴木)
- 9: デザイン・プレゼンテーション演習…各自課題の発表 (プレゼンテーション) (鈴木)
- 10: 研究計画書作成 (古賀)
- 11: 論文執筆 (古賀)
- 12: 論文執筆その 2・各自課題の発表 (古賀)
- 13: アカデミック・ライティング/プレゼンテーション指導 (特別講師予定)
- 14: アカデミック・ライティング/プレゼンテーション指導 (特別講師予定)
- 15: アカデミック・ライティング/プレゼンテーション指導 (特別講師予定)

履修の注意 (専門分野による履修制限等)

評価方法 (試験、レポート提出、課題提出など) ※院は定期試験なし。

課題提出やプレゼンテーションの状況並びに完成度・出席状況並びに参加姿勢等により総合的に評価する。
使用テキスト、参考テキスト

上村妙子、大井恭子『英語論文・レポートの書き方』研究社、2004 年、ほか、各担当講師より指示する。

各自準備物 (受講の際、準備させる物があれば具体的に)

辞書(紙版推奨):学研『アンカーコズミカ英和』,大修館『ジーニアス英和』,三省堂『ウィズダム和英』等
実習費等(必要な場合)

その他 (その他注意事項、受講生へのメッセージなど)

特別講師招聘等の都合により講義日時が変更になる場合がある。その他詳細は担当講師より指示する。